

公益財団法人 かわさき市民しきん 2023 年度 事業報告書

1. 「かわさき市民しきん」の目的

当財団は、市民や企業の志のある寄付を募り、社会の課題解決や地域の活性化などの公益活動を応援し、川崎を誰もが暮らしやすく、人や命にやさしい地域にすることを目的とする。

2. 「かわさき市民しきん」が目指すもの ～「かわさき市民しきん」が目指す未来の川崎～

- ・寄付することが“自然”、“かっこいい”と思う市民が増える。
- ・市民自らの手で、川崎というコミュニティを豊かで快適にしていこうという気持ちが集う。
- ・コミュニティのなかで市民の「お金」がスムーズに循環し、自立して持続できる社会となる。
- ・寄付し、寄付されることで、市民の生活や気持ちが豊かで、快適になることを市民自身が実感できる。
- ・市民が積極的にかかわり、ワクワクして、サポートしたいと感じるプロジェクトに「お金」が集まる。

3. 2023 年度を振り返って

2023 年度は新型コロナウイルスが 5 類になり、コロナ前に戻る一年でした。公益財団法人として 6 年目、財団の設立からは 8 年目の事業となりました。

【事業支援しきんあとおし】では、2020 年度にスタートした、ウェブサイト「かわファン」を通じて 2023 年度は 6 団体に助成を行いました。応募団体数、寄付総額は減少しました。

【意思実現しきん いしずえ】については、株式会社イグアス様のご寄付により、「アフターコロナにおける子どもを対象にした交流イベント実施助成」を行いました。合計 7 団体に助成を行い、事業を完了しました。

川崎市から受託しているプロボノ事業については、「川崎プロボノ部 2023」をオンラインを中心に運営し、多くの方が地域の活動にかかわる機会を提供することができました。

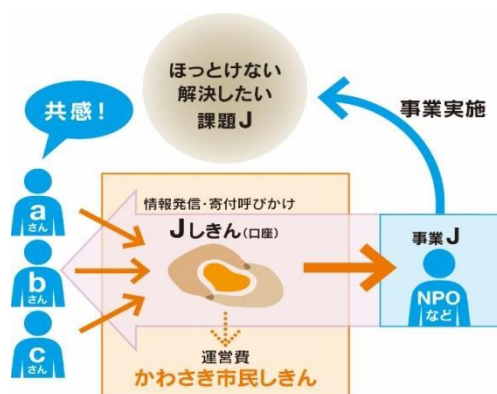
コロナ禍の影響を受け、生活様式や社会の在り方が変わり、オンラインとリアルを併用しつつ、事業を行う事ができました。

4. かわさき市民しきんの主な事業報告

(1) 助成プログラムの実施

① 事業支援しきん あとおし

「川崎で今、何が必要か?」「川崎の課題は何か?」。実際に川崎市内で活動する NPO などから、今必要とされている事業を募集し、選考します。そして、当財団を通して、それを広く市民に訴えその解決策(=NPO などが行う取り組み)への寄付金を事業ごとに集めます。寄付者は支援したい事業を選んで寄付をします。集まった寄付金から運営経費(寄付金の 15%)を引き、それぞれの事業に助成します。



◆2023 年度の「あとおし」実施報告

2020 年 9 月に地域限定クラウドファンด์「かわファン」サイトを立ち上げました。「あとおし」

の基本的な仕組みは変わらずに、事業の応募はいつでも可能、寄付募集期間と寄付募集の方法（All or Nothing か All in）は応募団体が選択できる、という応募団体の自由度が増して、応募しやすくなりました。

2023 年度は、かわファンで寄付募集を行おうと考えている団体に対し、6 月に説明会を開催しました。2022 年度に寄付募集を行った団体とこれから寄付募集を行うことが決まっている団体に登壇していただき、実際の寄付募集について事例紹介していただきました。2023 年度は 6 団体が年度内に寄付募集終了しました（1 団体は 2022 年度からの継続事業）。

・2023 年度に応募し、寄付募集が終了した助成対象事業

| 団体名 | 事業名 | 目標金額 | 寄付金総額 | 助成金額 | 寄付者数 |
|----------------|------------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| かわさきジャズ実行委員会 | 誰もが参加できるフリースタイルジャズライブを川崎全 7 区で続けたい | 4,000,000 円 | 1,179,555 円 | 955,360 円 | 101 |
| In Unity 実行委員会 | 音楽で川崎を盛り上げる学生バンドの CD デビューを応援 | 400,000 円 | 382,555 円 | 309,129 円 | 49 |
| Gomi-Map | リサイクル革命！ 川崎から発信する Gomi-Map | 500,000 円 | 0 円 | 0 円 | 0 |
| かわさきのらぼうプロジェクト | 紙芝居で伝えたい！のらぼう菜のこと | 500,000 円 | 688,000 円 | 555,294 円 | 103 |
| 一般社団法人プラスケア | 中原の魅力を伝えるウェルカムパーティーを開催したい！ | 1,200,000 円 | 554,939 円 | 449,310 円 | 51 |
| Bonvoyage | 鷲沼駅前に「cafe&bistro SUBURB」OPEN！ | 1,000,000 円 | 53,000 円 | 42,774 円 | 8 |
| 合計 | | 7,600,000 円 | 2,858,049 円 | 2,311,867 円 | 312 人 |

◆「あとおし 2022」事業の実施報告について

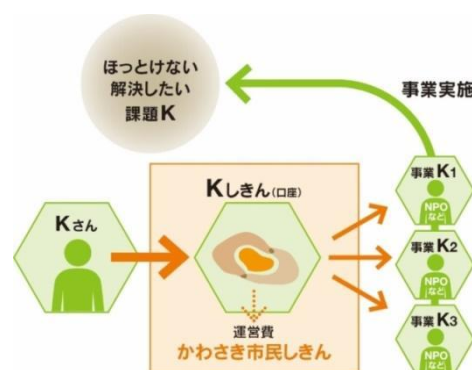
「あとおし 2022」の助成対象事業については、かわファン上で報告を掲載しています。どの事業もきちんと実施されました。

②意思実現しきん いしずえ

特定の目的のための“しきん”を当財団がお預かりし、その目的のために活動する NPO などへ助成をするプログラムです。思いを形にして残すことができたり、故人の思いを後世に伝えることもできます。名称は自由に付けることができ、助成対象やテーマを指定することができます。事例として以下を参照。

- ・創業などの周年事業として、地域社会への恩返しを目的とした助成
- ・家族のご逝去にあたり、その方の志を残すための助成

2023 年度はイグアス様の寄付により、コロナ禍でイベントなどが行われず、様々な体験の機会を逸した子どもたちに向けた、「アフターコロナにおける子どもを対象にした交流イベント実施助成」を行いました。下記の 7 団体に対し、10 万円ずつ助成を行いました。



事業実施団体／事業名

- ・コミュニティキッチン Cocoron (中原区) かわさきやさい☆いっぱい食べよう！大根 1 本使い切り講座
- ・川崎ロケット教室プロジェクト FUEL (宮前区) / ロケット教室の開催
- ・国際子育てひろば「コアラ」(中原区) / 世界の国歌・ダンスショー
- ・Link mama (麻生区) / 豊かな森の中で体験型ワークショップ×ジャンベ演奏
- ・カママ SUN バンド (多摩区) / ワガママ SUN バンドと Let's Sing & Popping

- ・NPO 法人 幸区盛り上げ隊（幸区）／幸盛もりもり食堂～みんなのおうち～
 - ・新生児業界（中原区）／一日ゆるっと開いています at 末長ふれあいルーム
- 7事業とも2024年3月までに実施され、地域の子どもたちが参加する、貴重な機会を提供するイベントとなりました。

③課題設定しきんたくわえ

川崎が抱える課題の解決や地域の活性化を目指すテーマを設定し、その活動について寄付を集めます。集まった寄付を、そのテーマで活動するNPOなどが行う活動に助成します。

- ・かわさきっ子すくすく基金

2023年度は、実施しませんでした。

- ・かわさき災害対策基金

市内や市外の団体の活動について、調査を行いました。

④寄付文化創造に向けた講座・セミナーの開催

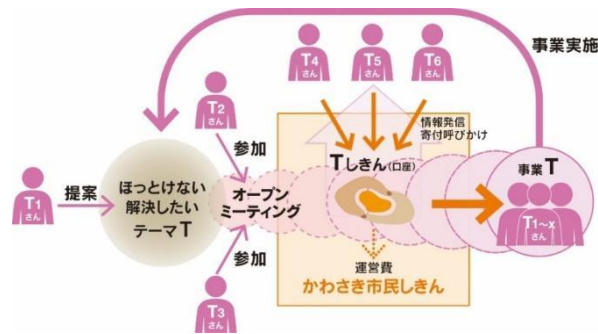
広く地域の課題解決に取り組む個人や団体に向けてのセミナーは実施しませんでした。川崎市が行うカワサキコネクトにて、「かわファン」の紹介を行いました。

(2) 調査研究事業 共感共鳴しきん えんたく

独自のテーマ設定で川崎のさまざまな活動を調査・研究するプログラムです。参加者は「こども」「環境」「介護」など、川崎が抱える課題の解決や地域の活性化を目指すテーマを当財団とともに提案し、運営に関わることができます。提案者は助成に必要な資金を当財団と一緒に集め、主体的にプログラムを展開します。

◆2023年度「えんたく」の実施報告

2023年度は事業実施しませんでした。



(3) 相談・支援事業

①川崎プロボノ部 2023 の実施

昨年度に引き続き、2023年度は川崎プロボノ部として川崎市の委託を受け、実施しました。市民が主体となって参加するプロボノコミュニティの構築を目指して、実施しました。オンライン・リアルでの併用で実施しました。

■実施内容

- オンラインセミナー・説明会の開催：全6回(ワーカー向け4回、支援団体向け2回)
- 支援団体:7団体、参加プロボノワーカー：33名、運営委員：8名、町内会・自治会支援：4名
- プログラム：オリエンテーション、キックオフミーティング、成果提案、振り返り会、報告会
- 町内会・自治会向け LINE 公式アカウント講座の実施（トライアル）

■成果

主な成果としては、以下の3点となります。

- ・多様な支援先団体へのプロボノプロジェクトでの支援の実施
- ・市民が主体のプロボノコミュニティの構築
- ・町内会・自治会向け LINE 公式アカウント活用講座の試行

多様な支援先へのプロボノプロジェクトでの支援が実施できました。その中で、運営委員が主体となって説明会などの運営を実施することができ、川崎でのプロボノコミュニティの構築をしていくことができました。ほとんどのプログラムをオンラインで実施しましたが、実際に会って話をする機会の大切さを改めて感じました。

町内会・自治会向けの LINE 公式アカウント講座をトライアルで実施し、町内会・自治会のニーズの高さを実感しました。

②川崎住宅奨学金事業への支援(対象川崎市内の高校2、3年生)

一般財団法人川崎住宅奨学会の奨学金事業について、学校への案内や応募者の取りまとめなどの支援を行いました。2023年度は6年目となります。応募が少なかったため、追加募集を行い、継続10名新規10名合計20名の奨学生が選定されました。2024年度の募集開始についても、案内の送付などを行いました。

③ 末長住宅ふれあいルーム運営事業

高齢者等の市営住宅入居者及び地域住民を対象とした生活支援、地域コミュニティの活性化を行う川崎市営住宅の末長住宅ふれあいルームの運営を、5月より行いました。地域のニーズをくみ取り、主な事業は地域の市民活動団体が実施できるよう、運営協議会の運営事務局を担いました。

(4) その他の事業

① 寄付者獲得プロジェクト

かわファンにより、かわさき市民しきんが集めた寄付金の使われ方が広く見えるよう、寄付の「見える化」のために、市民しきんのこれまでのHPのリニューアルを実施しました。

② 寄付者定着プロジェクト

ウェブサイトやメールマガジンを通じて、活動の報告を行いました。

メールマガジンの発行 4回

(5) 賛助会員制度と応援寄付

当財団の事業を実施するために、趣旨に賛同する企業や個人を対象に、賛助会員制度を設けています。このような寄付を促進し、社会の課題解決や地域の活性化をしていく公益財団法人「かわさき市民しきん」のプログラム自体に賛同し、応援してくださる方を対象とします。

① パートナー賛助会員 年会費 50万円

企業にとっても、CSR活動や人材育成の活性化につながるよう、プログラムに様々な形で参加できる制度。

企業の人材育成＝プロボノ参加（若手、シニア社員）、協働CSRマーケティングなどの価値を、地域課題解決に取り組むNPOなどへの支援を行う中で一緒に共創します。

② 賛助会員 企業・団体 1口1万円、5口以上で賛助会員証を発行。

③ 個人会員 1口5千円

④ 応援寄付 どなたでも、いくらでも当財団の応援への寄付です。

◆2023年度実績

賛助会員 賛助会費 20,000円

応援寄付 295,000円

賛助会費、応援寄付ともに減少しています。これまでの寄付者に、再度お願いする必要があります。